

結城あじさい会が踊りや尺八を披露

結城あじさい会(渡辺卓雲山代表)の一行7人が11月21日、介護老人保健施設「すばる」を訪れ、尺八の演奏や踊り、唄を披露し、すばるやデイサービスセンター「ヒューマン・ハウス」の利用者さまたちを魅了しました。

結城あじさい会は約20年前に、結城市や筑西市の民謡や踊りの愛好家が民謡の師匠でもある渡辺代表のもとに集まって結成。茨城県内などの高齢者施設で踊りや唄などを披露しています。

この日は女性3人による踊り『秋田大黒舞』で幕開け。唄『みだれ髪』や尺八演奏『星影のワルツ』、『船頭小唄』などを次々に披露しました。

踊り『北国の春』や踊り『佐渡の恋唄』、唄『母さんの唄』、『秋の里』などでは利用者さまが口ずさむ姿も見られました。唄『祝い唄』では合いの手を打ち、踊り『花笠音頭』で締めくくり、花束が贈られました。

平成30年11月22日

